

利用者
を
募集して
います。

むすび深町では、自立訓練（生活訓練）通所と、宿泊型自立訓練の新規入居者を募集しています。現在のご利用者数は、通所利用が10人、宿泊型入居が12名ほどです。職員は男性2名と女性が7名で、小規模の特性を活かし、利用者さまの訓練が円滑に進むように、細やかな工夫と確かな誠意をもって業務にあたらせていただいています。ご利用希望の方はぜひお問い合わせください。

担当：加藤

通所 自立訓練（生活訓練） スケジュール

- 8:30…送迎
- 9:00…朝の掃除と前日の振り返り
- 9:30…ラジオ体操、みだしなみ確認
- 10:00…1限目カリキュラム
- 11:00…2限目カリキュラム
- 12:00…昼食
- 13:00…3限目カリキュラム
- 14:15…4限目カリキュラム
- 15:30…清掃、日誌記録
- 16:00…送迎

職員からのひと言。

とある日。利用者と霞城セントラルの展望台から絶景を眺めました。「むすび深町の方角はどっちだろうね」など言いながら、俯瞰する気持ち良さを堪能しました。（支援員 安達）

〒990-2462

山形市深町1丁目4-13

TEL 023-666-4471

FAX 023-666-4472

E-mail musubi-f@klala-net.jp

特定非営利活動法人 あじさい

むすび深町

住む 暮らす 働く

自立訓練（生活訓練）／宿泊型自立訓練
相談支援事業所

広報誌
2023年7月号

むすび深町

あなたの暮らしと社会を「むすぶ」

星に願いを！

むすび深町の実習棟2階の食堂には、ほぼ中央に、きりっと柱が1本立っています。この柱が7月7日には、立派な竹竿の代わりに務めてくれました。七夕の飾りや、みんなの願いを書いた短冊を携えています。願いはさまざまな思いに溢れていました。きっと叶う…？と思います！

そんなむすび深町。6月から7月の訓練の様子を写真とともにお伝えします。

ぜひ中面をご覧ください

専門家に聞く！ 特別授業

先日は外部から講師をお迎えして、また他所の施設にお伺いしてスペシャルな授業をいただきました。どちらも私たちの身近にある危機について知り、備える機会となりました。そしてそれは思いがけず私たちの未来を考える時間でした。ご報告します。

↓ インターネットでのトラブルを避けるために



安全にインターネットを利用するために、山形県消費生活センターの消費生活相談員である渡部緑さんに、むすび深町にて、レクチャーをいただきました。消費の根本にあたる「契約」の考え方から、オンライン決済、ゲーム課金の危険性、個人情報の取り扱いなど、とても具体的な注意ポイントを教わり、本当に危険が身近に潜んでいることを実感し、背筋が冷える思いでした。さらに、この先に大事に考えていくべき「エシカル消費（人や社会、環境を考えた消費行動）」について、私たち一人一人が出来ることを教えてもらいました。まずは食品ロスを無くすことから始めていこうと思います。



全体を通してとても有意義な時間で、利用者のみなさんは知りたいことがまだまだたくさんある様子です。またぜひ出張講師をお願いしたいです。そして、実際に困ったことが起きた時は、速やかに以下に連絡して相談させてもらいましょう！

 **全国共通の消費者ホットライン**
TEL番号は【188（いやや）】

↓ 防災について体験する

山形市西崎にある市民防災センターで、非常事態に慌てないように貴重な体験をしました。今後も訪問し、利用者のみなさんには防災の知識をさらに深めてもらいます。



授業の様子 写真あらかると

むすび深町では、心身の管理、金銭の管理、時間の管理の3つを軸に、自立訓練の内容を組んでいます。

↓ 6月下旬から7月上旬にかけて



5月に作業訓練で植えた野菜が育ちました！ まず1番最初に来た収穫物は「小さいうちに摘果するのが良い！」と、農作業上手のS支援員の意見で、さっそくナスとキュウリとシソを摘み取って、山形の「だし」を作ってもらいました。それをお昼の給食の際に、利用者みんなでそうめんにかけて食べました。現在はどんどん収穫が出来るようになってきたので、次は何を作ろうか楽しみにしています。そんな緑の野菜たちの中で、赤紫の朝顔がとても美しく映えています。

そのほかの授業では、定期的な体力測定を本気度マックスで行ったり、工夫たっぷりに日めくりカレンダーを作ったり、調理実習では、玉子&カニカマ&旬のレタスなど具たくさんカラフルチャーハンを作りました。これがまたとても美味しいと、みんな満足していました。そんな中もうすぐ夏本番です。どんな8月になるのかしら。期待が高まります。